

## 舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)だより

令和5年8月

### ☆夏休み企画!(8月はミュージアムマンズリー)

※詳細は広報まいづる8月号をご覧ください

①クイズラリーに参加して缶バッチをゲットしよう!

日時;7月22日(土)~8月27日(日)10:00~16:00

(田辺城資料館でも同時開催!)

②自由研究なんでも相談!

舞鶴のことを調べて自由研究にしよう

日時;8月6日(日)・13日(日)・20日(日)

10:00~16:00

③古代のアクセサリー「まがたま」作り

日時;8月11日(金・祝)

10:00~12:00、13:30~15:30

各回先着10人、小学3年生以下は保護者同伴、  
料金350円、

申込要(電話で舞鶴ふるさと発見館(0773-75-8836)へ)



糸井文庫に出てくる鬼の缶バッチ

### ☆企画展

#### 『昔の「新しい」まいづる—新舞鶴町から読み解く明治・大正・昭和—』



絵ハガキ『新舞鶴名勝』「三條通」

明治34年(1901)舞鶴鎮守府が開庁したことに伴い、新舞鶴町が明治39年(1906)に誕生しました。田を埋め立て、川を付け替えて現在の東地区の元となるまちづくりを行ったのです。本企画展では、「新しい」まいづるができる様子を紹介します。尚、この展示と連動して京都市にある府立京都学・歴彩館での『新時代の京都展』(会期7月15日(土)~9月10日(日))でも当時の新舞鶴町の地図や絵葉書を展示しています。

## ☆今月の糸井文庫

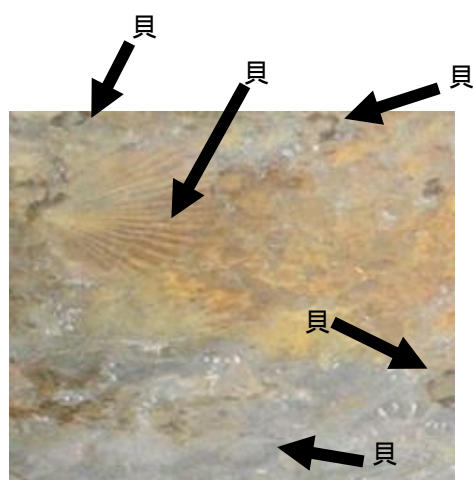


糸井文庫「浦島太郎玉手箱」

糸井文庫コーナーでは毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。今月は「浦島太郎玉手箱」です。さあ、玉手箱から何が飛び出してくるのでしょうか？左の浮世絵は正月に好んで歌舞伎で演じられた七福神と曾我五郎の対面の場面が出てきました。

## ☆サロンスペース

サロンスペースでは化石を展示します。地層を見ると、舞鶴から南西に向かって舞鶴帯という大きな帯のようなかたまりがあります。ここにはさまざまな地層があり、化石も豊富です。右の化石は1500年前(新生代第3期)の化石床です。化石床とは化石をたくさん含む地層のことです。



## ☆今月の展示解説

今月は「舞鶴のまつり」です。

日時;8月20日(日)13:30~14:30

場所;舞鶴ふるさと発見館展示室

※入館料が必要です。



お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)

(受付時間 9:00~16:30)

TEL:0773-75-8836

FAX:0773-77-1314

住所:舞鶴市字南田辺1番地

(ゆうさい会館(西総合会館)1F北側)

展示室入場料:大人 100円、

市外学生 50円

サロンスペース:無料

休館日:8月7(月)・14(月)・21(月)・28(月)

